

香美市地域公共交通計画（概要版）【令和6年3月】

1. 計画の区域

本計画の対象区域は、香美市全域とします。

2. 計画の期間

本計画の期間は、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。

3. 地域公共交通に関する課題

1. 市民の公共交通への当事者意識の醸成
2. 収支や人材確保などの視点を踏まえた持続可能な地域公共交通の構築
3. 利用しやすい公共交通サービスの提供
4. 近隣自治体への広域移動の確保
5. 高知工科大学との連携
6. 観光との連携
7. 利用しやすい公共交通の環境整備や医療・商業施設など他分野との共創
8. わかりやすい情報発信の強化

4. 地域公共交通が目指す将来像

みんなで考え、みんなでつくり、みんなが乗れる公共交通

5. 計画の目標

目標① 公共交通が移動手段として機能する

◆公共交通の利用者数

872,783人【現状値（令和4年度）】→900,000人【目標値（令和10年度）】

目標② 公共交通への公的負担金を抑え、収支率を維持する

◆香美市の公的負担金

120,776千円【現状値（令和4年度）】→140,100千円以下【目標値（令和10年度）】

◆利用者1人あたりの香美市の公的負担金

873円【現状値（令和5年度見込）】→1,013円【目標値（令和10年度）】

◆収支率（山田駅～龍河洞線（民間路線バス））

22.5%【現状値（令和4年度）】→現状維持【目標値（令和10年度）】

◆収支率（大柘線（民間路線バス））

84.7%【現状値（令和4年度）】→現状維持【目標値（令和10年度）】

◆収支率（市営路線バス・エリア型デマンドバス）

2.3%【現状値（令和4年度）】→現状維持【目標値（令和10年度）】

目標③ 市民が公共交通の利用経験を得る

◆鉄道を利用したことがある方の割合【「全く利用しない」と回答された方以外の割合】（アンケート）

37.4%【現状値（令和4年度）】→40.0%【目標値（令和10年度）】

◆路線バスを利用したことがある方の割合【「全く利用しない」と回答された方以外の割合】（アンケート）

20.7%【現状値（令和4年度）】→25.0%【目標値（令和10年度）】

目標④ 公共交通空白地域を解消させる

◆路線バスの新規系統数

0本【現状値（令和5年度）】→1本【目標値（令和10年度）】

◆公共交通空白地域の人口の割合

15.5%【現状値（令和2年度）】→14.1%【目標値（令和10年度）】

目標⑤ 市民の利用頻度を向上させる

◆鉄道の利用頻度が1ヶ月に1日以上の方の割合（アンケート）

5.4%【現状値（令和4年度）】→6.0%【目標値（令和10年度）】

◆路線バスの利用頻度が1ヶ月に1日以上の方の割合（アンケート）

5.6%【現状値（令和4年度）】→6.5%【目標値（令和10年度）】

目標⑥ 市民の公共交通への満足度を向上させ、公共交通への当事者意識を醸成させる

◆「公共交通の満足度」に対して「満足・やや満足」と回答された方の割合（アンケート）

16.6%【現状値（令和4年度）】→20.0%【目標値（令和10年度）】

◆「今後、自分だけでも将来のために公共交通を積極的に利用しようと思いますか」の設問に対して「とても思う・思う」と回答された方の割合（アンケート）

54.8%【現状値（令和4年度）】→65.0%【目標値（令和10年度）】

目標⑦ 市民と一緒に公共交通をつくる

◆地域座談会を開催した地区数

0地区【現状値（令和5年度）】→通算10地区（毎年2地区）【目標値（令和10年度）】

◆乗り方教室の開催

0回【現状値（令和5年度）】→通算5回（毎年1回）【目標値（令和10年度）】

目標⑧ 様々な主体と公共交通をつくる

◆高知工科大学（西内研究室）との協議

0回【現状値（令和5年度）】→通算10回（毎年2回）【目標値（令和10年度）】

◆医療機関との協議

0回【現状値（令和5年度）】→通算5回（毎年1回）【目標値（令和10年度）】

◆商業施設との協議

0回【現状値（令和5年度）】→通算5回（毎年1回）【目標値（令和10年度）】

目標⑨ 観光客に公共交通を利用してもらおう

◆公共交通を利用した観光客数（観光場所で観光客に観光場所までのアンケートを実施）

（データ無し）【現状値（令和5年度）】→10.0%【目標値（令和10年度）】

8. 基本方針を実現するための事業

基本方針① 市民と一緒に作る公共交通

◆市民にとって公共交通が交通手段として認知され、移動の選択肢になるために、市民の当事者意識の醸成を図り、一緒に作る環境を整えます。

事業名① 乗り方教室・出前講座の実施

公共交通の乗り方教室・出前講座を実施します。

事業名② 施設やイベントとの連携

施設利用や香美市が主催・協賛するイベントについては、公共交通の利用を呼びかけ、案内には路線バスのダイヤなどを掲載します。

事業名③ 公共交通無料デーの実施

普段、公共交通を利用していない市民に、公共交通を利用してもらうために、無料デーを実施します。

<p>事業名④ 地域公共交通の見直しに向けた地域座談会</p> <p>路線バス（民間・市営）のダイヤ改正や市営エリア型デマンドバスの運行内容の改善など、市民ニーズを正しく認識するために毎年、地域座談会を開催します。</p> <p>開催にあたっては、市民に香美市の公共交通の現状を共有し、公共交通の確保・維持に向けた当事者意識の醸成を図ります。</p> <p>また、移動する際の困りごとなどを収集し、公共交通への反映を検討します。</p>
<p>事業名⑤ 市民が主体となる取組</p> <p>市民が主体となり、公共交通との関わりを創出・連携した取組を支援します。</p>

<p>基本方針② 様々な主体が関わり、一緒につくる持続可能な公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通を多方面において支える環境を構築するために、医療・商業施設など連携しながら、他分野との共創を図ります。 ◆観光客の増加が見込まれるため、移動手手段の確保などを図ります。 ◆運転手不足に対応するために、確保に向けた取組を実施します。
<p>事業名⑥ 他分野との共創による公共交通の活性化</p> <p>目的地となる施設や他分野（医療・福祉・教育・商業・観光など）と連携し、利用者や収入の確保を図り、公共交通を活性化するための施策を支援します。</p>
<p>事業名⑦ 観光まちづくりと連携した公共交通の活用推進</p> <p>観光と連携した公共交通の活用を推進します。</p>
<p>事業名⑧ 福祉タクシー制度の継続</p> <p>今後も福祉タクシー制度を継続していきます。</p>
<p>事業名⑨ 移住・定住促進施策と連携した担い手確保支援</p> <p>香美市及び高知県が運営する移住ポータルサイトや移住相談会などを活用し、公共交通の担い手確保を支援します。</p>
<p>事業名⑩ 多様な働き方の検討</p> <p>働きやすさの向上や女性活躍といった観点から、時短勤務制の導入や女性乗務員の積極採用等を検討します。</p>
<p>事業名⑪ 自動運転に向けた勉強会</p> <p>今後、レベル4自動運転の導入に向けた調査研究、勉強会への参加を行います。</p>
<p>事業名⑫ 香美市地域公共交通活性化協議会の開催</p> <p>毎年1回以上は、香美市地域公共交通活性化協議会を開催し、本計画の進捗状況や評価を行います。</p>

<p>基本方針③ 生活を支える利用しやすい公共交通ネットワークの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆広域幹線（JR土讃線）や地域内路線（民間路線バス・市営路線バス・市営エリア型デマンドバス）、タクシーや福祉政策の移動支援と役割分担を図りながら、市民の生活を支える利用しやすい公共交通ネットワークを再構築します。 ◆見直しにあたっては、既存の公共交通は維持・確保することを基本としながら、利用状況や地域特性・利用者ニーズ、収支の状況などを確認し、国や県の補助を活用しながら、効率的・効果的な運行方式の見直しや改善を図ります。また、公共交通空白地域の解消を目指します。
<p>事業名⑬ わかりやすく利便性の高いバスネットワークの形成</p> <p><民間路線バス></p> <p>民間路線バス（山田駅～龍河洞線、田井～北岸・本山～大杉駅・医大病院線、大柄線）は、継続して運行してもらうために支援します。</p> <p><市営路線バス></p> <p>市営路線バスは、現在の運行を継続します。</p>
<p>事業名⑭ 鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化</p> <p>鉄道とバスが乗り継ぎしやすくなるよう運行ダイヤの見直しを行います。</p>

<p>事業名⑮ 市営エリア型デマンドバスの見直し</p> <p>やまださくら号・かほくあじさい号・ものべゆず号を継続して運行させます。また、市民への周知を図ります。</p>
<p>事業名⑯ 定期的な利用者調査</p> <p>交通体系の改善に向けた検討材料や利便性向上のために、利用者のニーズや満足度を把握することを目的とした利用者調査を定期的実施します。併せて乗降調査を実施し、必要に応じて路線・ダイヤの見直しを検討します。</p>
<p>事業名⑰ 通学支援の維持・継続</p> <p>現状と同様に通学支援を維持し、通学の安全を確保します。通学支援については教育機関と協議しながら対応します。</p>
<p>事業名⑱ 土佐山田駅からのいち駅を結ぶ交通モードの検討</p> <p>市民のなかでは、香南市の商業施設などへの移動手段を望む声も多くあります。</p> <p>そのため、香南市と連携しながら、本市の交通結節点である土佐山田駅と、香南市にあるのいち駅を結ぶ交通モードについて検討します。</p>

<p>基本方針④ 利用しやすい公共交通の環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆誰もが移動できるようにするために、公共交通に関連する施設や車両などを利用しやすい環境に整えます。 ◆待合や乗継ぎに対する負担を軽減させ、交通結節点の利用環境を整えます。 ◆高知工科大学との連携を強化します。
<p>事業名⑲ 駅・待合室・バス停の整備</p> <p>市民からの要望があるため、土佐山田駅のバリアフリー化を検討します。</p> <p>また、バス待合室のある美良布・大柘は快適にバスを待つことができるように整備します。</p> <p>必要に応じて、バス停の更新・改修を検討します。</p>
<p>事業名⑳ 高知工科大学（西内研究室）との連携</p> <p>新たな公共交通の課題把握や課題を解決する施策・事業の取組などを行います。</p>

<p>基本方針⑤ わかりやすい公共交通の情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通を利用してもらう身近なものにするために、既存の情報発信に加えて、情報環境を整えながら、わかりやすく情報を発信します。
<p>事業名㉑ 広報紙による情報提供</p> <p>「広報香美」において、継続的に公共交通に関する特集記事を掲載し、公共交通の現状や利用するメリット、利用の仕方などの情報を提供します。</p>
<p>事業名㉒ ホームページによる情報提供</p> <p>香美市・交通事業者のホームページにおいて、公共交通に関する情報を市民にわかりやすく提供します。</p> <p>また、観光に関する情報も一緒に掲載し、観光客にもわかりやすく情報を提供します。</p> <p>また、SNSを活用し、駅やバス停近くの施設などの情報を提供します。</p>
<p>事業名㉓ 公共交通マップの作成</p> <p>既存の公共交通マップの更新を行い、交通事業者、交通モードに関わらず、市内公共交通に関するすべての情報を網羅したわかりやすく携帯可能な公共交通マップやパンフレットを作成し、配布を強化します。</p> <p>また、転入手続きなどに公共交通マップなどを配布し、情報を提供します。</p>
<p>事業名㉔ 公共交通オープンデータ（GTFS）の整備・更新</p> <p>公共交通オープンデータ（GTFS）の整備・更新に向けた取組を実施します。</p>
<p>事業名㉕ キャッシュレス化の推進</p> <p>交通系ICカード「ですか」等を導入し、利用者の利便性の向上を図ります。</p>